

●第7回教科等指導力養成講座

令和3年5月22日（土）に第7回教科等指導力養成講座を行いました。緊急事態宣言の延長に伴い、配信動画の視聴、ビデオ会議サービスの活用による講座となりました。

1 主な講座の様子

【小学校コース】

○ 特別支援教育

教職員研修センター研修部専門教育向上課の桑田昌明統括指導主事から、特別支援教育についての講義を受けました。学校生活支援シート（個別の教育支援計画）や東京都独自の特別支援教室の仕組み、都立特別支援学校在籍児童・生徒の副籍制度等、東京都の特別支援教育について学びました。

○ 授業づくりの基礎

養成塾担当教授から、授業づくりの基礎についての講義を受けました。

道徳科では、児童の実態に即した教材研究や、授業づくりの講義を通して、教材提示や発問について学びました。

国語では、教材を例に、児童の主体的な学びの姿、対話的な学びの姿、深い学びの姿を目指した学習活動等について考えることを通して、学びを充実させるための発問等の手だてについて学びました。

算数では、1単位時間における導入からまとめまでの問題解決の学習過程について考えることを通して、児童の思考を深めたり、対話を促したりする発問の工夫について学びました。

2 班別協議の様子

教授や同じ班の仲間と講義で学んだことや、特別教育実習の授業実践において課題に感じていることについて協議しました。対話を通して講義内容と特別教育実習を往還することで、実践的に学びを深めていました。



オンラインによる班別協議



オンラインによる班別協議



自閉症の特性と指導



自立活動とコミュニケーション

【特別支援学校コース】

○ 自立活動とコミュニケーション

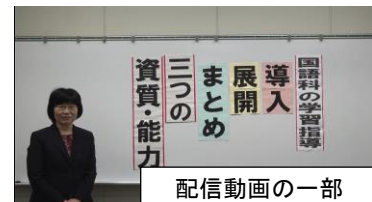
都立小平特別支援学校の谷本式慶主幹教諭から、自立活動とコミュニケーションについての講義を受けました。講義や演習を通して、障害のある児童・生徒の実態に応じたコミュニケーション指導の手法や ICT 機器の活用した授業づくりについて学びました。

○ 教科等を合わせた指導

養成塾担当教授から、作業学習についての講義を受けました。授業事例から、作業工程が明らかになるように学習環境を整えることや障害特性に応じた教員の指導の在り方について学びました。児童・生徒の「できる」という成功体験を生み出すための学習活動の工夫について学びました。

○ 自閉症の特性と指導

東京家政大学の半澤嘉博教授から、自閉症の特性と指導についての講義を受けました。講義や自閉症の芸術家の作品紹介等を通して、自閉症の特性の理解と、個性や長所を生かした指導の重要性について学びました。



配信動画の一部

【塾生の感想より】

- 特別支援教育では、教師間、保護者、地域との連携が大切だと学んだ。どの学級においても支援を要する児童がいるので、教育的ニーズに応じた支援を行えるようにしたい。
- 道徳科では、教材提示や発問の工夫を課題にして、今後の特別教育実習で実践してみたい。終末の説話は、児童が道徳的価値を身近に感じられるように工夫していきたい。
- 自己の課題として算数における興味をもつことのできる問題の提示が挙げられる。学習指導案を作成する際は、児童にとって興味をもてる内容であるか、児童の視点に立って考えていきたい。
- 小学部には作業学習の時間がないため実感がもちにくいですが、中学部や高等部の学習活動を実習の中で参観する機会を活用し、どのような活動があるかをこれからも観察していきたい。

●第9回教科等指導力養成講座

※ 第8回教科等指導力養成講座は7月17日(土曜日)に延期となりました。

令和3年7月3日(土)に第9回教科等指導力養成講座を行いました。7月に入り、養成段階は伸長期から、充実期となりました。

1 主任指導主事からの講話

○ 教師として

東京都の目指す教育の方向性や東京都の教員に求められる資質・能力について学びました。目指す教師の姿をイメージする演習を通して、自己の今後の課題について振り返りました。

2 主な講座の様子

【小学校コース】

○ 授業づくりの基礎

養成塾担当教授から、授業づくりの基礎についての講義を受けました。

社会では、教材研究の手順についての演習を通して、地域素材を教材として活用した資料の提示の在り方や学習活動の工夫について学びました。

国語では、単元の評価計画から、評価場面や評価方法を考える演習を通して、単元の目標を達成するための言語活動の設定の大切さを学びました。

算数では、問題解決の場面の模擬授業を通して、自力解決における机間指導の在り方や集団解決の進め方等を学びました。

【特別支援学校コース】

○ 国語と算数の指導

練馬区立上石神井北小学校の泉田巧人副校長から、国語と算数の指導についての講義を受けました。講義や事例の紹介を通して、児童・生徒の発達の段階に応じた指導内容や教育課程の編成等について学びました。

○ 特別支援学校の教材づくり

養成塾担当教授から、特別支援学校における教材づくりについての講義を受けました。特別支援学校におけるICT機器の活用事例紹介やプログラミングの体験を通して、端末を用いた教材提示の仕方や児童の学びを促すICT機器の活用について学びました。

3 班別協議の様子

およそ4ヶ月ぶりとなる対面形式での開催となりました。塾生同士で活発に意見を出し合ったり、疑問点について、その場で教授に質問をしたりするなど、対面のよさを感じながら、学びを深めていました。



算数



国語



教材づくり



班別協議

【塾生の感想より】

- 主任指導主事の講話を通して、目指す教師について改めて考えることができた。初心を忘れずに「児童一人一人と向き合い、良さや可能性を見いだし、それを伸ばすことができる教師」となれるように、これからも努力していきたい。
- 社会では、問題解決的な学習を設計することの重要性を学んだ。また、身近な教材を使用することで、児童にとって学習の理解が深まるということを知ることができた。
- 国語では、「指導と評価の一体化」について学んだ。指導があつての評価であること、評価は児童に対する評価だけではなく、教師自身の指導の評価でもあるということ学んだ。
- 算数の模擬授業では、自身が児童役になって参加したことで、数学的活動を行う留意点について理解できた。中でも集団解決の場面では、それぞれの児童の考えを受け止めるだけでなく、いくつかの考えを比較・検討し、共通点や相違点を考えさせることが大切だということが分かった。
- ICTを活用した授業の講座を受けて、児童が興味・関心をもって取り組めるように、今後の授業でICTを積極的に活用していきたいと思った。